

平成19年 西大井メッツ・ウインズ<中学部>活動方針

基本理念（方針・目的）

小学時代は、野球に熱中してると言ってもまだ野球の楽しさの本質は解らないと思います。中学野球を通して本質的な野球の楽しさを理解していくと同時に、視野や活動範囲が広がり将来的にはどの様な方向に進んでも大きな財産になることと考えます。

中学生になると自我意識が少しずつ芽生えぼんやりと将来に対する方向性等について意識してくる時期にさしかかります。選手にとって中学でも野球を続けるということは、勉強との両立をクリアしなければならない大きな問題が存在し、保護者も進学等を踏まえた子供の将来について考える時期でもあります。

選手自身が、可能性に向かって、自分がやりたいことを自分で明確にし、更にそのための目標となる具体的なターゲットを明確にすることによって、打込める目標が見出せれば良いことと思います。

小学野球で一生懸命に野球を続けてきた知識と技術力を更に中学で体力・技術を向上させ、高校・大学への進学後も野球を続けてもらいたいと思います。

早いうちから意識し、そのための最も実現性ある方向を指導者、選手一丸となって模索していきたいと考えます。

行動指針（目標）

想定

判断

気迫

■練習編

- ①試合を想定したポジション別の基本プレー技術の習得
- ②試合を想定した打撃技術の習得
 - ・コースに逆らわない打撃
 - ・確実なバント

■試合編

- ①試合展開に応じた戦術を理解する。
- ②サインプレーの徹底

中学部における習得必須項目

- ①正しい投球、捕球、打撃フォームを身に付ける。
- ②声を出すことの重要性を理解し実践する。
- ③基本的なサインプレーを実践する。
- ④挨拶

西大井メッツ具体的な練習の進め方

環境

1. 練習環境の基本

- (1) 場所: 大井町グラウンド
- (2) 日程: 毎週土日及び祝日
- (3) 練習時間: 8:00~12:00

2. 基本以外の練習環境

- (1) 品川区野球施設の利用
野球時間帯(7:00~17:00)のグラウンド確保
(抽選申し込みを行う)
- (2) 青空球場等無料施設の利用、安価な区立野球施設の利用なども積極的に取り組む。
※グラウンドは非常に数が少なく確保もなかなか難しい。
従って、グラウンド利用時の練習はチームプレイを中心にグラウンドでしかできない応用的な練習を行う。
(特に内野の守備練習)

3. その他

練習が土・日及び休日と日数や時間的に限られていることから自己練習も可能なかぎり行っていくこと。
いつも練習に参加できるとは限らない。
<家の行事や塾等>

練習にあたって

1. 大井町グラウンドでの練習

- (1) 全面芝のため、各種トレーニング、キャッチボール、個人ノック、トスバッティング、ティーバッティングと基本的な練習となるため、丁寧に・心を込めて・真剣に・集中して取り組む。
- (2) 内野守備練習(ゴロ等)を中心に実践形式の練習

2. 品川区野球施設を使った練習

- (1) 試合を想定した内・外野の連携プレイを中心に実践形式の練習
- (2) 試合形式のフリーバッティング及び走塁練習

3. その他

- ・集合時間の厳守、交通ルールの厳守
- ・中学球児らしい態度
- ・チームワーク
- ・挨拶
- ・道具の手入れ
- ・小学チームのサポートも積極的に行なう。